



ANGELY

CANOVAS

Christian Fischbacher

Domminique Kieffer

HARLEQUIN

HOLLAND&SHERRY

JAB

JIM THOMPSON

kinnasand

Kravet

LE CRIN

LELIEVRE

NOBILIS

nya nordiska

OSBORNE&LITTLE

PIERRE FREY

SAHCO

Sanderson

ZR

■ Déco Offの感想を各社に聞いてみると、概ね良好との事。ビジネスに直結したとの意見が多いようだった。来年に関しては、Déco Off 継続するかはまだ決まっていない様子。

2010・MAISON&OBJET・傾向その1 (カラー)

■全体の傾向としては、色が少しソフトなトーンへ移行している事が上げられる。また、強いカラーにはグラデーションの効果を使用する事で、優しい仕上げになっている物が多い。どのカラーの考え方もベースには、環境への配慮が感じられる。

Bioをイメージさせる様々なグリーン～イエローカラー

イエロー～イエローグリーン～グリーン～グレイッシュグリーンまでの様々なグリーンの展開が新鮮。BIOイメージを表現していた。エコグリーンのバリエーションの広がりを感じる。



力強いエスニックカラー

大地に根ざした力強く主張を持ったカラーのブルー～イエロー～オレンジ～レッド～グリーン～ブラック～ホワイトが、基本のカラー。今までとは異なる手作りの思考をプラスする事で、新しいグローバルなエスニックを演出。



優しいピンクのバリエーション

優しいピンクの中に、アクセントとしてマゼンダやコーラルが使われる事が多かった。また、このカラーレンジでは、水彩タッチや透明感のある商材にも多く見られた。



ニュートラルカラーは、ベージュのトーンとなり多くなっている。多くの傾向としては、素材の色を、そのままもしくは近いカラーで、商品化している物が目についた。紙や木、金属類などのカラーが新鮮。

